



しばた いさお
柴田 勇雄 議員

問 中心市街地の活性化策は

答 交流拡大で賑わいを創出

まちなか活性化
議員 町道茶屋場田子線の開通に伴い、「まちなか」の衰退・空洞化を懸念。さらなる中心市街地活性化の加速を図るべき。
町長 これまで中心市街地活性化事業では、商工会と自治会などで組織する「まちなか活性化協議会」を中心に、四季の特色を活かしたイベントをはじめ、街路灯へのハンギングバスケットによる美化やフラッグの取り付け活動を展開した。このイベント等で「まちなか」の賑わいの創出に成果を上げる一方で、中心市街地の個店への誘客や売り上げの増加、周遊性・回遊性の強化を感じた。
 併せて「くずまき型DMO事業」では、「くずまき観光地域づくり協議会」を推進母体に、観光を切り口に地域GDPを拡大



まちなかイベントでのお菓子まき

させ、若い世代の魅力的な就労の場を創出し、町の最重要課題の人口減少歯止めに取り組んでいる。今年度は「自転車で訪れなくなる町」を目指す「くずまき型サイクルツーリズム」の推進、町の特産物を活かした商品開発、リノベーションまちづくり講習会の開催や遊休不動産等の利活用の検討、若者・高校生の活動による高校の魅力化、若者世

聖火リレールート
議員 東京五輪聖火リレーの定住促進等を図る。加えて、移住体験ツアーの企画・運営や移住関連情報の発信、町内スポーツ団体や宿泊施設との連携によるスポーツツーリズムを推進し、これまで以上にスポーツ大会や合宿誘致に努め交流人口の拡大を図り、さらなる賑わいの創出に取り組む。

レールロートの再考・復活実現の見通しを伺う。
町長 7月定例会議で、ルートから除外された5町村と県町村会が県に対し、ルートの再考を申し入れた旨の答弁を行っている。これに対し、県を経由し「国際オリンピック委員会」の承認を得ての決定から変更はできない旨の回答があった。
 聖火リレーは「復興五輪」の理念の下、「希望の道をつなごう」をコンセプトに実施するものであり、県では東日本大震災からの復興「オール岩手」の体制で推進する中、5町村だけの除外は残念である以上に遺憾であり、未だに納得いく説明がなく決定経緯も不透明で強い疑問を抱いている。
 今後は、町民の皆様が世紀のスポーツイベントに関わる機会を創出に取り組んでいく。

今、ここが聞きたい
 ～ 一般質問に3人が登壇、町政を問う～



柴田 勇雄 議員

- ・中心市街地の活性化策は
- ・当町の聖火リレールート復活は

11
ページ



山岸 はる美 議員

- ・ツキノワグマの食害対策は
- ・医師等の確保対策は
- ・給食の主食再開の見通しは

12
ページ



山崎 邦 廣 議員

- ・新庁舎周辺道路の整備充実は
- ・小規模農業の経営推進は

13
ページ

9月9日に3議員が一般質問を行いました。一般質問は町の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来の方針などを幅広い視点から報告や説明を求め質問します。

議員の質問できる時間は、1時間以内です。

議事録の内容は、町のホームページと議会事務局で閲覧できます。

- ・町ホームページ <https://www.town.kuzumaki.iwate.jp/>
- ・または、「葛巻町議会」で検索